



別海町立中春別中学校



学校だより

令和4年11月30日 発行

『心の栄養』

校長 岩崎 撰也

気づけば暦はあと1枚となり、日を追うごとに寒さが身にしみる慌ただしい季節になりました。学校ではいまだに収束のきざしの見えないコロナウイルスの影響を受けながらも文化祭、修学旅行など大きな行事も無事終わり、学習や生活面でのまとめに取り組んでいるところです。この2学期も生徒たちを見てきて普段の授業や行事の中で一生懸命に頑張る姿や成長する姿を見ることができました。学校ではそうした姿をとらえ、折に触れて生徒たちに伝え、次の活動への意欲につなげています。ご家庭におかれましても今年1年を振り返って感じた我が子の良いところや頑張ったことをぜひ伝えていただきたいと思います。

さて、学校では朝10分間の読書の時間を取っており、私も時々生徒たちとともに好きな本を持ってこの読書の時間を過ごします。たかが10分と思われるかもしれませんが静寂の中で本の世界に入り込むこの時間は集中力を増すとともに情緒を安定させるなど1日の始まりにプラスの効果を生んでいるように思います。

読書がもたらす具体的な効果を考えると、諸説ありますが次の三点が挙げられると思います。1点目は語彙が増え、言葉に対する理解力が高まることです。読書をする中でこれまで知らなかった言葉に出会い、またいろいろな場面で発せられる言葉について前後のストーリーから考察することでその本質を理解する力が高まります。2点目は考える力や想像力が育つことです。言葉を通してストーリーを理解しようとする、情景を想像したり、遠い世界に思いを馳せたりすることを通して考える力や想像力は自ずと育まれます。3点目は表現力やコミュニケーション能力が高まるということです。たくさんの言葉や表現を知ることにより自分が発信するときの表現力が高まるとともに、相手の言うことを正しく理解することができるようになります。また作中の人物に共感したり、様々な価値観や考え方に触れたりすることにより自分の内的世界が広がり、他者の存在を認め、柔軟に受け入れることができるようになります。

読書が子どもたちに与えるこうした効果に加え、大人にとっては脳トレの効果があり、脳の様々な部分を刺激することで認知症の予防に効果があるともいわれています。夜の長いこの季節、ぜひご家庭でもお子さんと一緒に心豊かに読書をする時間を過ごしていただきたいと思います。

最後になりましたが、3年生の皆さんは、三者面談も終わりいよいよ目標も明確になって、自分の夢を実現させるために本気になる時期です。高校入試に合格するための受験勉強ではなく、自分の将来を見据えて、そのための準備として大切な時間、大切な努力なのだということを自覚して頑張りたいと思います。

